

経 済 民 生 常 任 委 員 会 記 録

令和元年 12 月 13 日(金)午前 11 時 42 分～午前 11 時 56 分(9階 904 会議室)

○出席委員(8名)

委 員 長	二階堂武文
副委員長	佐々木 優
委 員	高木 直人
委 員	川又 康彦
委 員	石山 波恵
委 員	阿部 亨
委 員	小松 良行
委 員	山岸 清

○欠席委員(なし)

○市長等部局出席者(なし)

○議 題

「古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査」

- (1) 古関裕而記念館現地調査について
- (2) 参考人招致について
- (3) 行政視察について
- (4) その他

午前11時42分 開 議

(二階堂武文委員長) ただいまから経済民生常任委員会を再開いたします。

議題は、お手元に配付の印刷物のとおりです。

古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査についてを議題といたします。

初めに、古関裕而記念館現地調査についてです。前回、11月22日の委員会において古関裕而記念館を現地調査したところであり、現地視察終了後、皆様からさまざまな意見をいただきました。当日は、説明を受けながら館内を視察することで、新たな古関裕而氏に関するエピソードなども確認することができると同時に、施設の課題や現状なども一定程度把握することができたのではないかと考えておるところです。

それでは、現地調査のまとめと書かれた資料をごらんください。これに基づいて簡単に振り返りますが、まず1、古関裕而記念館の現状と問題点についてです。来場者数は、平成24年度以降、1万2,000人台から1万3,000人台で推移しており、単純に計算すると1日当たり平均30人から38人の来場者という状況であること。エールの放送が決定したことしの2月28日以降は、来場者が伸びており、前年度比の約1.8倍になっていること。また、来館者については、小学校の授業で子供たちが見学に来ることもあるが、ほとんどが高齢者であり、市民の来館者は少ない傾向にあること。ただ、子供たちの中でも、家族に歌や音楽を教えてもらって、興味を持った子が演奏会などに顔を出しており、そのような子供たちが活気を生み出しているという点などが把握できたかと思います。

また、築30年が経過し、トイレの老朽化や空調の老朽化、エレベーター等の老朽化も進んでいて、改修が必要な時期に来ていること。施設が狭隘であるということや、職員体制も館長1名、学芸員1名、嘱託3名の5名体制であり、今後の来館者受け入れに不安があるということなど、受け入れ環境の整備がまだ整っていないこと。次に、記念館のリニューアル内容も現時点では未定であり、施設での物販や飲食についても現在のところ実施する予定はないという状況も把握できたと感じております。

こういった状況を踏まえた中で、皆様からさまざまな意見をいただきましたが、意見開陳で出た意見からまとめますと、今後観光客の来訪増が見込まれる中、市民ボランティアを養成して対応にあたることや物販もあわせて検討すること、もっと古関氏に関心を持ってもらえるよう館内の見せ方を工夫することなど、来館者に対するおもてなしの体制を十分に確保する必要があること。

次に、今後は応援歌や学校の校歌など、若い世代にも有効なコンテンツを活用しながら、年配の世代以外の若い世代にも関心を持ってもらい、巻き込みながら一緒に盛り上げていくことが重要であることという2点が今回の現地調査からまとめられるのではないかと考えているところであります。

いずれにしても、エール放映により高まった古関裕而氏に対する興味、関心や本市への注目を逃がさないようしっかり活用することが重要であると改めて感じたところです。

現地調査については、簡単であります。このようにまとめてはいかがかと思いますけれども、よろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、そのようにまとめさせていただきます。

次に、参考人招致についてです。前回の委員会で、市の音楽文化総合アドバイザーである三浦尚之氏の参考人招致について、来年の1月15日水曜日の午後ということで日程を確保いただきました。

改めて三浦氏への聴取事項等を確認していきたいと思いますので、お手元の資料の参考人招致実施要領案をごらんください。まず、1、日時です。先ほどお話ししましたように、令和2年1月15日水曜日の午後1時30分より開催できればと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

次に、会場ですが、市役所9階の908会議室での開催の予定です。

次に、3、目的ですが、古関裕而氏を活かしたにぎわいの創出に関する調査に資するためとしております。

次に、4、依頼先及び参考人より聴取する意見の内容ですが、出席依頼者は福島市音楽文化総合アドバイザー、三浦尚之氏、内容は古関裕而氏を題材としたNHK朝ドラ誘致に長年かかわってきたこれまでの取り組みと経緯についてのほか記載の3点です。枠の下の米印に記載のとおり、参考人は9年ほど前から、市や商工会議所とNHKの橋渡し役になっていただくなど、今回のNHK朝ドラ誘致に当初から深くかかわっていたとのこととあります。また、市の音楽文化アドバイザーとして、今回の古関裕而氏を生かしたまちづくりをはじめ、市の音楽文化、芸術の振興に広く取り組んでいただいていること、そして参考人自身がこれまで世界や日本全国で音楽、芸術の振興と音楽のまちづくりに取り組んできたことから、これらの経験を踏まえた中でさまざまな意見が聴取できるのではないかと考えており、本市が進める古関裕而氏を生かしたまちづくりがドラマ放映終了後も持続性を持った取り組みとなるためのポイントや解決すべき課題は何かを導き出すヒントにしたいと思っております。

次に、当日の進め方ですが、参考人招致終了後の意見開陳も含めて2時間半程度。全て終了するのが午後4時ころと予定しております。

残りの項目については、参考人招致にあたっての注意事項等ですので、後ほど各自お読みいただければと思います。

また、別紙資料として、参考人である三浦参考人の簡単なプロフィールも添付しておりますので、こちらも後ほどお読み取りいただければと思います。

参考人招致についての説明は以上となりますが、このような内容で参考人招致を進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、そのように進めさせていただきます。

次に、行政視察についてを議題といたします。

行政視察については、前回の委員会で8カ所ほど案をお示しさせていただき、選定は正副委員長にご一任いただいたところですが、現在の調整状況についてお知らせいたします。まず、日程ですが、視察先自治体との調整の結果により、2月3日月曜から5日水曜までの3日間となる予定ですので、よろしくお願いいたします。

また、視察先については、静岡県浜松市、愛知県岡崎市、岐阜県恵那市ということで詰めております。詳細が決まり次第、皆様にお知らせしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

お手元には改めて3つの自治体の取り組みについて記載した資料を準備しておりますので、各自ご確認ください。

そのほか皆さんから特になければ、議題は以上となりますので、ここで暫時休憩いたします。

午前11時52分 休 憩

午前11時53分 再 開

(二階堂武文委員長) それでは、委員会を再開いたします。

ここからは、令和元年台風第19号による農業被害の現地調査についてを議題といたしたいと思います。

前回の委員会でも少しお話をさせていただきましたが、本市に大きな被害をもたらしました台風第19号について、特に農業被害が著しかったことから、当委員会としてそれらの状況を把握するため、現地調査を実施するというご異議ございませんでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、委員会の単発の所管事務調査として現地調査を行いたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

早速ですが、お手元に配付の次第をごらんください。議題については、令和元年台風第19号による農業被害の状況についての現地調査としています。

次の資料の経済民生常任委員会現地調査案と書かれた資料をごらんください。まず、1番の調査日時ですが、前回、皆さんからは12月18日または26日ということで2日確保していただいておりますが、当局と相談させていただきましたところ、記載の12月26日木曜日午前9時20分から9階の908会議室で委員会を開催したいと考えております。

次に、2番の調査内容、場所ですが、令和元年台風第19号による本市農業施設等の被害状況の確認をするともに、被害農家等への聞き取り調査を実施するとしております。

次に、4番の当局対応ですが、農政部による対応となっております。

次に、5番、服装等についてでございますが、現地視察用の作業着、長靴、防寒具を着用の上でご参加いただければと思います。

次に、6番の日程ですが、9時20分に委員会を908会議室で開会した後、9時30分にマイクロバスで福島市役所の東側玄関を出発、9時45分に現地調査の1カ所目として、被害の大きかった瀬上地区のリンゴ果樹園を30分程度視察し、移動、2カ所目の現地調査として、こちらも被害が甚大だった鎌田地区のキュウリ栽培施設を視察し、午前11時30分に市役所に戻るという案でございます。戻りましたら委員会室で意見開陳を行い、お昼には終了という流れで考えております。

以上が現地調査案の概要ですが、このような日程で進めさせていただいてもよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(二階堂武文委員長) それでは、年末の慌ただしい時期で申しわけありませんが、そのように進めさせていただきます。

議題については以上となりますので、委員の皆様から何もなければ、経済民生常任委員会を閉会いたします。

午前11時56分

散 会

經濟民生常任委員長 二階堂 武文